



カエンコイ2発電所(タイ)

業績ハイライト

海外コンサルティング事業を中心とした売上高は、前期に対し17.9%減少の16億円となりました。

セグメント利益(経常利益)は、持分法投資利益の増加等により前期に対し11.7%増加の39億円となりました。

事業の概要と特徴

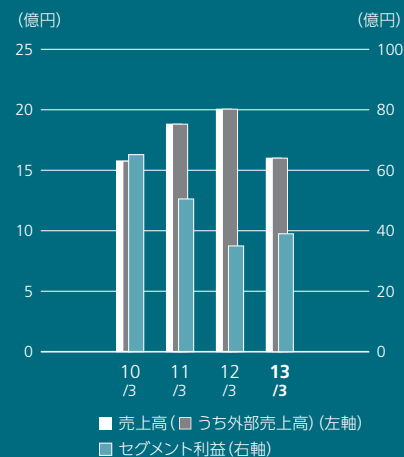
J-POWERグループは、1960年より「海外コンサルティング事業」に取り組み、以来、世界各国で長年にわたり、環境影響評価、石炭火力発電における脱硫・脱硝技術移転、水力・送変電における計画・設計・施行監理等のコンサルティング事業を実施してきました。

その後、世界的な電気事業の自由化が進行する中、1997年に社内に専門組織を設置して、旺盛な電力需要の増加が見込まれる海外市場に資本や技術を投入して事業参画を行う「海外発電事業」への取り組みを開始しました。

開始当初は、比較的小規模な出資による発電所の建設あるいは操業等への部分的関与をベースとした事業参画が中心でしたが、厳しい競争環境の中、着実に経験と実績を積み重ね、メジャー出資、グリーンフィールド案件へと事業参画を拡大してきました。2005年には米国に現地法人を設立し、同国での本格的な事業展開を開始しました。また2007年には、タイにおいて、建設から携わった大型のガスコンバインドサイクル発電所(カエンコイ2)の運転を開始しました。

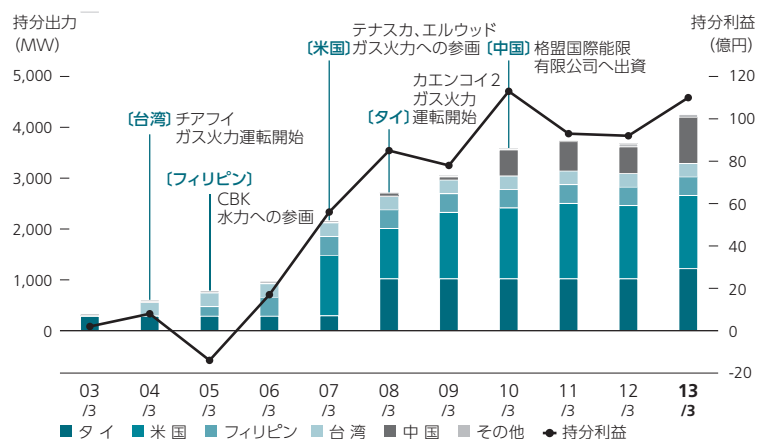
こうした段階的な取り組みを通じて、2013年3月現在では、タイ、米国、中国、台湾、フィリピン等7カ国・地域で31件、425万kW(持分出力ベース)の発電設備を運転しており、海外発電事業を国内事業に並ぶ柱とすべく、取り組みを強化しています。

セグメント売上高/セグメント利益*



*セグメント利益は経常利益を表示しています。

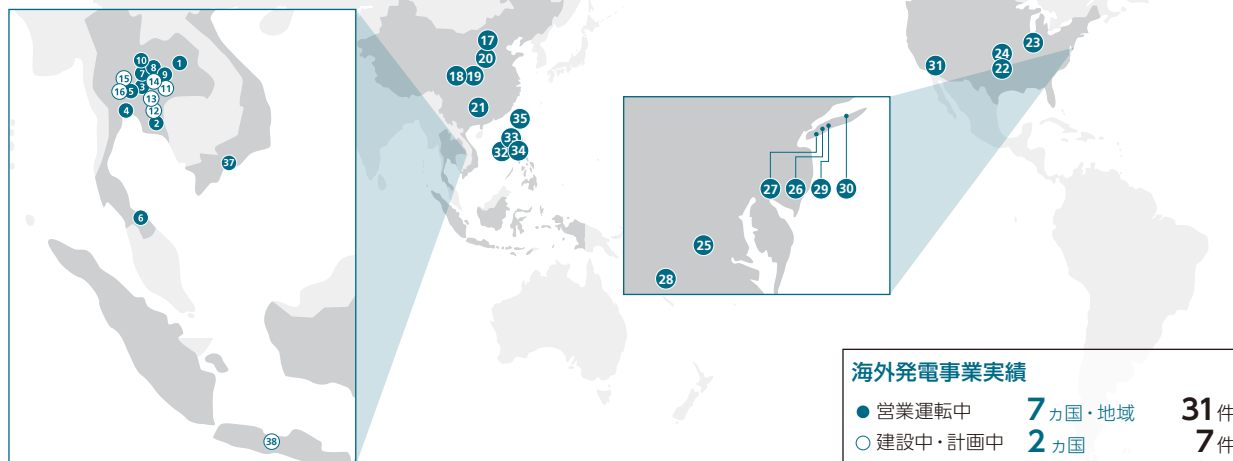
海外発電事業の持分出力(営業運転中)*と持分法投資損益の推移



*持分出力(左軸)：プロジェクトの総出力に当社出資比率(持分比率)を乗じた出力であり、年度末の数値を計上。

海外発電事業

(2013年3月末現在)



状況	プロジェクト名	発電形態	設備出力 (MW)	当社出資比率	権益取得時期	売電先	売電契約期間	
タイ								
営業 運転中	①	ロイエット	バイオマス (モミ殻)	10	24.7%	2000年度	タイ電力公社	21年間
	②	ラヨン	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	112	20%	2000年度	タイ電力公社/工業団地内企業	21年間
	③	ガルフ・コジエネ(カエンコイ)	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	110	49%	2001年度	タイ電力公社/工業団地内企業	21年間
	④	サムットプラカン	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	117	49%	2002年度	タイ電力公社/工業団地内企業	21年間
	⑤	ノン・ケー	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	120	49%	2002年度	タイ電力公社/工業団地内企業	21年間
	⑥	ヤラ	バイオマス (ゴム木廃材)	20	49%	2003年度	タイ電力公社	25年間
	⑦	カエンコイ2	ガス火力 (コンバインドサイクル)	1,468	49%	2004年度	タイ電力公社	25年間
	⑧	KP1*2	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	110	90%	2007年度	タイ電力公社/工業団地内企業	25年間
	⑨	KP2*2	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	110	90%	2007年度	タイ電力公社/工業団地内企業	25年間
	⑩	TLC*2	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	110	90%	2007年度	タイ電力公社/工業団地内企業	25年間
小計 10件			2,287 (当社持分出力1,221MW)					
建設中	⑪	NNK*2	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	110	90%	2007年度	タイ電力公社/工業団地内企業	25年間
	⑫	NLL*2	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	120	67.5%	2007年度	タイ電力公社/工業団地内企業	25年間
	⑬	CRN*2	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	110	90%	2007年度	タイ電力公社/工業団地内企業	25年間
	⑭	NK2*2	ガス火力 (コンバインドサイクル)*1	120	90%	2007年度	タイ電力公社/工業団地内企業	25年間
	⑮	ノンセン	ガス火力 (コンバインドサイクル)	1,600	90%	2007年度	タイ電力公社	25年間
	⑯	ウタイ(旧サメッタイ)	ガス火力 (コンバインドサイクル)	1,600	90%	2007年度	タイ電力公社	25年間

*1 電気とともに、発電によって発生した排熱を有効利用するコジェネレーション設備。

*2 2013年に発電所の運転を開始する7SPPプロジェクト



ガルフ・コジェネ(カエンコイ) (タイ)



グリーン・カントリー(米国)



賀州(中国)



TLC(タイ)



CBKカラヤン(フィリピン)

状況	プロジェクト名	発電形態	設備出力 (MW)	当社出資比率	権益取得時期	売電先	売電契約期間
中国							
営業 運転中	17 天石	低品位炭・ボタ火力	50	24%	2000年度	山西省電力公司	1年更新 ^{*4}
	18-19 漢江(喜河・蜀河)	水力	450	27%	2009年度	陝西省電力公司	1年更新 ^{*4}
	20 格盟 ^{*3}	主に石炭火力	5,885	7%	2009年度	山西省電力公司	—
	21 賀州	石炭	2,090	17%	2007年度	広西電網公司	1年更新 ^{*4}
	小計 5件		8,475 (当社持分出力902MW)				
米国							
営業 運転中	22 テナスカ・フロンティア	ガス火力 (コンバインドサイクル)	830	31%	2006年度	Exelon Generation Company, LLC	20年間
	23 エルウッド・エナジー	ガス火力 (シンプルサイクル)	1,350	25%	2006年度	Exelon Generation Company, LLC/ Constellation	2012年/ 2016年/ 2017年まで
	24 グリーン・カントリー	ガス火力 (コンバインドサイクル)	795	50%	2007年度	Exelon Generation Company, LLC	20年間
	25 バーチウッド	石炭火力	242	50%	2008年度	Virginia Electric and Power Company	25年間
	26 パインローン	ガス火力 (コンバインドサイクル)	80	50%	2008年度	Long Island Power Authority	2025年まで
	27 エクス	ガス火力 (シンプルサイクル)	48	50%	2008年度	Long Island Power Authority	2017年まで
	28 フルヴァナ	ガス火力 (コンバインドサイクル)	885	15%	2008年度	Shell Energy North America	2024年まで
	29 エッジウッド	ガス火力 (シンプルサイクル)	80	50%	2009年度	Long Island Power Authority	2018年まで
	30 ショーハム	ジェット燃料火力 (シンプルサイクル)	80	50%	2009年度	Long Island Power Authority	2017年まで
	31 オレンジグローブ	ガス火力 (シンプルサイクル)	96	50%	2007年度	San Diego Gas & Electric	25年間
小計 10件		4,486 (当社持分出力1,438MW)					
その他の国/地域							
営業 運転中	32-34 CBK(フィリピン)(3件)	水力	728	50%	2004年度	フィリピン電力公社	25年間
	35 嘉恵(台湾)	ガス火力 (コンバインドサイクル)	670	40%	2002年度	台湾電力	25年間
	36 ザヤツコボ(ポーランド)	風力	48	46.8%	2006年度	ENERGA社	15年間
	37 ニョンチャック2(ベトナム)	ガス火力 (コンバインドサイクル)	750	5%	2008年度	国営ベトナム電力総公社	契約交渉中
小計 6件		2,196 (当社持分出力692MW)					
計画中	38 セントラルジャワ(インドネシア)	石炭	2,000	34%	2011年度	インドネシア国有電力会社	25年間

*3 格盟国際能限有限公司は、発電会社14社を保有する電力会社。

*4 「電力売買契約」は1年更新であるものの、売電先である省レベルの送配電会社と別途締結する「送電網接続管理協議書」により、原則として運転期間中の継続的な売電を契約。